

森の通信

Museum and Cultural Institutions of Miyazaki Prefecture

宮崎県
総合博物館だより

第12号

発行日/平成3年1月21日

発行/宮崎県総合博物館

〒880 宮崎市神宮2丁目4番4号

TEL (0985) 24-2071



この写真の土器は平安時代の土器です。宮崎学園都市遺跡群に所在する平安時代集落のひとつ前原南遺跡7号住居跡から出土したものです。須恵器の碗や蓋、土師器の甕や坏など平安時代の日常雑器です。平安時代というと貴族文化華やかな時代を想像しがちですが、こんな器が食卓を飾っていたのです。

今、新しいまちづくりの進む宮崎学園都市からは、平安時代の集落をはじめ先土器時代のキャンプの跡や縄文時代から室町時代までの集落な

ど数々の遺跡が掘り起こされました。

このような集落遺跡は人々の日常生活の様子を刻んだ生活遺跡です。発見される多くの住居跡や土器などからは昔の人々の普段のくらしぶりを見ることができます。

本展覧会では8年間におたって行われた発掘調査の成果を一堂に紹介し、先土器時代から江戸時代の約2万年にわたる「宮崎学園都市」での人々のくらしを再現します。(永友)

—— 学園都市調査10年の歩み ——

日向の遺跡展

〈会期〉

平成3年1月22日(火)～2月17日(日)

開館時間 午前9時から午後4時30分

休館日 1月28日、2月4日・12日

〈入館料〉

大人 500円(400円)

高・大生 300円(200円)

小・中生 200円(100円)

()内は20名以上の団体・割引料金

—— 記念特別講演会 ——

2月10日(日) 午後2時～4時

講師 佐原 眞 (奈良国立文化財研究所
埋蔵文化財センター調査部長)

演題 「大昔と現代」

会場 宮崎県総合博物館県民文化ホール

採集作品展を終えて



作品のなかのカバマダラ(写真中央)

第19回小・中学校児童・生徒の採集作品展は、10月28日から11月11日まで開催されました。出品総点数は256点を数えました。

さて、作品の中には、南から気流に乗ってくるチョウが例年見られます。今年は、少なめでしたが、宮崎ではあまり飛来してこないマダラチョウ科のカバマダラが2匹採集されていました。南西諸島以南に生息している種です。その他、タテハチョウ科のリュウキュウムラサキもありましたが、ジャノメチョウ科のウスイロコノマチョウの多さには目を見はりました。このチョウは、宮崎で冬を越しているのかわからない種です。もしかすると、もう住みついているのかもしれませんが。

このように、小・中学生により採集されるものの中には、記録上、貴重なものが数多く含まれています。(岩崎)

光と影のファンタジー 瑛九フォト・デッサン展

瑛九は油彩、銅版画、石版画、水彩画、フォト・デッサンなど幅広い分野に創作活動を展開し、昭和35年48歳の若さで世を去りました。彼が残した独創性に富む数多くの作品群は、今日、わが国の前衛美術の先駆けとして注目されています。なかでも、フォト・デッサンは、最も新鮮なイメージに溢れ、オリジナリティに富むものです。

フォト・デッサンは、カメラを使わず印画紙の上に透明、半透明、不透明の物体を置いて光を当てて感光させるやり方です。

瑛九は、印画紙の上に、動物や人物の切抜きをはじめレース、カーテンなどいろいろな形を置き、照射する光の強弱と時間の長短、また、形の移動によって斬新で独自の作品を創出しました。

この展覧会では、瑛九のフォト・デッサンに溢れる光と影が織り成すファンタジーの世界を紹介합니다。(永井)



動物たち Animals 1951 45.5×55.4 宮崎県総合博物館

会期 平成3年1月22日(火)～2月17日(日)
会場 宮崎県総合博物館

Let's Go Museum



〔ベルリン国立美術館展の観賞の様子〕

特別展「ベルリン国立美術館展」は10月から12月にかけて開催、約26,000人の熱心な鑑賞者でにぎわいました。

なお、10月から12月末までに来館された県内の学校・団体の皆さんは表のとおりです。

県内来館団体一覧(10～12月)

10月	古城小、北俣小、吉野方小、移動県民学校、木城中、西池小PTA、北川町高齢者教室、鹿野小、生田中PTA、田野小、宮崎南小PTA、本庄中、南郷中、野尻中、志和池中、綾中、秋山小、吾田小、吾田東小、鶴戸小、宮崎農業高生活科、細田中、住吉小、広瀬小、都城南小、清武小
11月	上南方小、筋水中、川南小、青島中、油津中、都於郡中、内海小、大宮高、鶴翔高、宮大附属中、宮崎西小、大王谷中、移動県民学校、宮崎日大中、大宮中、都城工業、中之又小、福島中、東大宮中家庭教育学級、教育研修センター長期研修生、佐土原美術園工部会、赤江東中PTA、北方小、江南小、宮崎港小、本庄小、国富小、木脇小
12月	県体育指導委員会、中央保育所、都農高、宮崎日大高女子バレー部、佐土原高、大宮高、宮崎日大高、住友生命、内門婦人会、鉄肥中成人学級、須木中PTA、南郷阿都北郷町老人クラブ

好評だったボランティアガイド!

近年、生涯学習の一環として、社会教育施設におけるボランティアの受け入れが注目されるようになってきました。これは志をもつ人々が技能、知識、労力、時間、経験等を提供して利用者の学習を助けると同時に、ボランティア同志や利用者、施設職員等とのさまざまな触れ合いと、教えかつ学ぶという相互学習により、自らの生きがいを高める学習活動です。当館でも本年度この事業に取り組み、特別展「ベルリン国立美術館展」のガイドをお願いすることになりました。募集の結果25名の応募があり、展示会の始まる前に養成講座を4日間行いました。

10月26日に展示会がオープンし、11月1日よりいよいよボランティアガイドのスタートです。会場の中央および出口にコーナーを設け、入館者の質問等に応じていただきました。何しろ初めめのことで、最初は対応に四苦八苦されていましたが、回を重ねるごとに要を得、終りの頃はすっかりベテランの域でした。入館者側ももちろん初めめのことでしたが、ていねいな説明



にとっても喜んでおられました。1人5回のガイド役をつとめ、この大役を終了した皆さんの顔はどれも満身に満ちたものでした。また、展示期間中、ベルリン国立美術館中近東美術館のロスト館長も滞在され、ボランティアの方々とロスト館長との交流もでき、実に意義深いものとなりました。

このように大きな成果をあげて今年のボランティア活動は終了しましたが、ここで参加者の感想を紹介してみたいと思います。(斉藤)

ボランティア活動を終えて

大坪 三紗子さん

先ず最初に、沢山学ぶ機会を与えていただいた事に感謝します。そして、ボランティアの皆さんと、古代彫刻を通して、楽しく学ぶ事ができました。いろんな情報の交換などを通して視野も広がった様です。

ともすれば、忘れ去られてしまいそうな古代史の世界に、これ程、深く、身近に関わる事ができたという事は、何事も出逢いが大切なのだと痛切に感じました。

ベルリン国立美術館展が始まるまでは、一体どの様な展示会になるのか、又、私達ボランティアの必要性はあるのかしらと少々不安な気持ちも抱きました。

でも今は、素晴らしい体験だったとはっきり言えます。これから迎える老後の道しるべを見つけれられた様な…何か学びたいという漠然とした思いが具体的になって来た様な…

確かに私の中で何かが起ったのです。

会期中、展示会を見に来て下さった多くの人々との出逢いも、家庭しか知らない私には

刺激的で素晴らしいものでした。5回のボランティアを通して、何と多くの方々と語りあえた事でしょう。作品についてのお尋ねや、説明はもちろん多くありましたが、古代彫刻を間に、いろんな会話が交されました。世界各国の美術館や、遺跡へ行って来られた方の実感のこもった感想…紀元前のはるか彼方の古代世界の歴史や地理の事…久しぶりに中味の濃いお話が聞けて、一回一回のボランティアの日があつという間に過ぎていきました。そして、何人もの方が、感謝のことばを残していられました。それだけで今回のボランティア体験の意義は十分です。近寄り難かった彫像が最後の回では、別れるのが心残り、いつまでも見ていたいと思ったものです。

私の勉強不足でロスト館長とお話しできなかったことが残念です。これからの課題として英会話も…是非、習得したいものです。お世話になった博物館の職員の方々、ボランティアの皆さんありがとうございました。

